

工場前に座り込む

訴訟派の
患者たち

いっぽう訴訟派の患者たちは午前十時すぎからチツソ水俣工場前にすわり込んだ。胸に遺影を抱きながら、工場入り口に黒いノボリの弔旗を並べた。会社側が「何とかはすしてほしい」と申し入れたが「この旗を取り払うなら命は返してくれるか」と患者側が叫び、会社側は引きさがった。

また患者家庭を支援する新日窒労組は午後二時から会社側の水俣病補償に対する姿勢に抗議し八時間間の全面ストライキに突入した。

引き続きすわり込みをした患者とともに工場前で「慰霊および抗議集会」を開いて市中をデモ行進した。